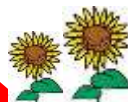




もせうし



妹背牛小学校

学校だより No.5



教育目標：○心身ともに健康な子 ○よく学び、深く考える子 ○明るく、心豊かな子

平成 27 年 7 月 10 日 発行

前期保護者アンケートの結果

6月に実施した「学校評価（前期保護者アンケート）」の結果をまとめましたので、御報告します。評価項目の改善を図ったため、過年度と比較できない項目があります。その上で、類似した項目同士の比較を行ったところ、Cが増えた項目がいくつかありました。評価結果を真摯に受け止めるとともに、C評価が10パーセントを超える項目については、直ちに改善に取り組みます。

【集計結果（回収率81.6%）】

A そう思う。 B おおむねそう思う。 C あまり思わない。 D 全く思わない。 E 分からない。 (%)

NO.	評価項目	A	B	C	D	E
1	学校は学校・学校通信やブログ、PTA総会、保護者懇談会等を通して、学校・学級の方針や子供の成長を保護者へ具体的に説明している。	35.9	59.0	5.1	0.0	0.0
2	学校は子供の実態、学校・保護者・地域住民の願い、時代の要請を踏まえたカリキュラム（学校教育の全体計画）の改善に取り組んでいる。	28.2	56.4	<u>11.5</u>	0.0	3.8
3	今年度（現時点で）、学校・学級の方針に基づいた向上的変容が我が子にみられる。	25.6	38.5	<u>25.6</u>	0.0	10.3
4	学校は保護者・地域住民からの連絡や相談に丁寧に対応している。	35.1	44.2	<u>10.4</u>	0.0	10.4
5	学校は学力向上のための授業改善に取り組んでいる。	24.4	61.5	<u>11.5</u>	0.0	2.6
6	学校は授業の中で子供の学力向上に取り組んでいる。	29.5	56.4	<u>10.3</u>	0.0	3.8
7	「総合的な学習の時間」を改善し、「郷土妹背牛」科を創設して、郷土妹背牛を愛する・誇りに思う子供を育成するのは重要である。	35.1	50.6	7.8	1.3	5.2
8	学校は学年に相応しい（学年×10分+10分）家庭学習に進んで行うよう指導している。	35.9	55.1	9.0	0.0	0.0
9	学校は子供の睡眠時間やメディアに触れる時間を適正にしたたり、決まりを守ったりできるように計画的・日常的に指導している。	29.9	51.9	<u>14.3</u>	0.0	3.9
10	学校は子供が元気よく挨拶したり、お礼を言ったり、正しく話したりできるように計画的・日常的に指導している。	35.9	52.6	<u>11.5</u>	0.0	0.0
11	学校はいじめを防止したり、解決したりするために職員全体で取り組んでいる。	33.3	46.2	6.4	2.6	11.5
12	学校は子供の実態を把握し、友達関係などの悩みや問題をなくすよう対応している。	26.9	48.7	9.0	2.6	12.8
13	学校は道徳の時間を中心に、『私たちの道徳』や副読本を使って、学校全体を通して自信を持たせ、自尊感情を高め、自分や地域を誇りに思うように育成している。	28.2	53.8	6.4	0.0	11.5
14	我が子が楽しく学校へ通っている。	62.8	28.2	7.7	1.3	0.0
15	学校は子供の将来の夢や希望を持たせるため、道徳を中心として個別に指導している。	15.4	51.3	<u>12.8</u>	0.0	20.5
16	学校は体育の授業や行事を通して、体力づくりのための目標を持たせ、その達成に努め、子供の将来に役立つ体力向上に取り組んでいる。	33.3	52.6	<u>10.3</u>	0.0	3.8
17	学校は心身の健康を高めるための指導や情報提供に取り組んでいる。	30.8	52.6	<u>10.3</u>	1.3	5.1
18	学校は子供の安全を確保するために計画的・日常的な防災・防犯・避難・登下校の訓練や指導を行っている。	48.7	48.7	2.6	0.0	0.0
19	学校は計画的・日常的に施設設備の安全点検を行い、改善に努め、美しい学校づくりに取り組んでいる。	34.6	53.8	5.1	0.0	6.4
20	PTA活動や地域の取り組みが充実している。	38.5	52.6	2.6	0.0	6.4

昨年度比較した評価項目について、今年も継続して比較しました。また、新設した4項目については、比較するものがないので、A+Bの結果に基づいて分析しました。(項目が2つあるものは、今年度分が下です。)

[教育課程・学習指導]		A+B=91.0 (+3.5ポイント)					
学校は、子供が主体的に家庭学習を行うよう工夫して取り組んでいると思いますか。(～H26)							
8 学校は、学年に相応しい家庭学習に進んで行うよう指導している。(H27～)							
	A	B	C	D	E	無回答	
27年度前期	35.9	55.1	9.0	0.0	0.0	0.0	
26年度	43.8	43.8	10.0	0.0	2.5	0.0	
25年度	34.4	54.7	9.4	0.0	1.6	0.0	
24年度	44.4	42.0	12.3	1.2	0.0	0.0	

[設備・地域連携]		A+B=97.4 (+6.2ポイント)					
学校は、子供の危機回避能力を高めるための計画的な防災・防犯訓練を行うとともに、設備施設の定期的な点検・改善に努めていると思いますか。(～H26)							
18 学校は子供の安全を確保するために計画的・日常的な防災・防犯・避難・登下校の訓練や塩津を行っている。(H27～)							
	A	B	C	D	E	無回答	
27年度前期	48.7	48.7	2.6	0.0	0.0	0.0	
26年度	37.5	53.8	5.0	0.0	3.8	0.0	
25年度	34.4	54.7	6.3	0.0	4.7	0.0	
24年度	30.5	59.8	3.7	0.0	6.1	0.0	

[生徒指導・安全指導]		A+B=88.5 (-1.5ポイント)					
学校は、子供が元気よくあいさつしたり、正しい言葉づかいができるよう計画的かつ日常的に指導していると思いますか。(～H26)							
10 学校は子供が元気よく挨拶したり、お礼を言ったり、正しく話したりできるように計画的・日常的に指導している。(H27～)							
	A	B	C	D	E	無回答	
27年度前期	35.9	52.6	11.5	0.0	0.0	0.0	
26年度	43.8	51.3	3.8	1.3	0.0	0.0	
25年度	29.7	57.8	4.7	1.6	6.3	0.0	
24年度	28.4	59.3	8.6	1.2	2.5	0.0	

新設項目 [学校運営]		A+B=64.1					
3 今年度(現時点で)、学校・学級の方針に基づいた向上的変容が我が子にみられる。							
	A	B	C	D	E	無回答	
27年度前期	25.6	38.5	25.6	0.0	10.3	0	

[道徳教育・特別教育]		A+B=91.0					
14 我が子が楽しく学校へ通っている。							
	A	B	C	D	E	無回答	
27年度前期	62.8	28.2	7.7	1.3	0.0	0	

		A+B=85.9 (-10.4ポイント)					
学校は、学力向上ための取組を工夫して推進していると思いますか。(～H26)							
5 学校は、学力向上ための授業改善に取り組んでいる。(H27～)							
	A	B	C	D	E	無回答	
27年度前期	24.4	61.5	11.5	0.0	2.6	0.0	
26年度	50.0	45.0	3.8	0.0	1.3	0.0	
25年度	28.1	64.1	4.7	0.0	3.1	0.0	
24年度	41.5	45.1	8.5	1.2	3.7	0.0	

		A+B=91.0 (+4.8ポイント)					
PTA活動や地域の取組は充実していると思いますか。(～H26)							
20 PTA活動や地域の取り組みが充実している。(H27～)							
	A	B	C	D	E	無回答	
27年度前期	38.5	52.6	2.6	0.0	6.4	0.0	
26年度	38.8	47.5	5.0	0.0	8.8	0.0	
25年度	28.1	54.7	6.3	0.0	10.9	0.0	
24年度	28.0	61.0	7.3	0.0	3.7	0.0	

		A+B=81.8 (-11.9ポイント)					
学校は、子供が基本的な生活習慣を確立したり、学校のきまり等を守ることができるよう計画的かつ日常的に指導していると思いますか。(～H26)							
9 学校は子供の睡眠時間やメディアに触れる時間を適正にしたり、決まりを守ったりできるように計画的・日常的に指導している。(H27～)							
	A	B	C	D	E	無回答	
27年度前期	29.5	51.3	14.1	0.0	3.8	1.3	
26年度	45.0	48.8	2.5	0.0	3.8	0.0	
25年度	28.1	62.5	6.3	0.0	3.1	0.0	
24年度	33.3	60.5	4.9	0.0	1.2	0.0	

[教育課程・学習指導]		A+B=85.7					
7 「総合的な学習の時間」を改善し、「郷土妹背牛」科を創設して、郷土妹背牛を愛する・誇りに思う子供を育成するのは重要である。							
	A	B	C	D	E	無回答	
27年度前期	35.1	50.6	7.8	1.3	5.2	1.3	

[設備・地域連携]		A+B=88.5					
19 学校は計画的・日常的に施設設備の安全点検を行い、改善に努め、美しい学校づくりに取り組んでいる。							
	A	B	C	D	E	無回答	
27年度前期	34.6	53.8	5.1	0.0	6.4	0	

「記述欄から」

[学校運営]

- ・ 向上的変容しているようには思わなかったが、あまり不安があるわけではありません。



[教育課程・学習指導]

- 学習面で、少し分からないところが多いのが、不安な部分です。家庭学習でも頑張っているのですが、どうしたらよいか分かりません。
- 低学年に関しては、もう少し家庭学習を身に付けるように、学校側でもしっかりと指導して欲しいです。
- 「総合的な学習の時間」で、郷土のことを学ぶのは、悪いとは思わないが、以前のように、学年ごとのテーマの中で、子供たちが課題を設定して学習に取り組むことの方が、広がりを持って良いのではないかと考える。
- 授業が遅れているのではと、不安があるようです。



[生徒指導・安全指導]

- 10について……。数年前に比べると、挨拶をする子が減ったような気がします。個人的には、恥ずかしがり屋な子もいると思うので、強制はしなくても良いと思いますが。

[道徳教育・特別活動]

- 上級生にからかわれるのが、不快なようです。

[健康教育]

- 「保健だより」を毎回、楽しく読ませてもらっています。
- 冬のカーリングやスキー授業を無くすような話を聞いた。本当かは分からないが、本当だとしたら、冬の運動不足を加速させるだけだと思う。町に設備があり、近くにスキー場もあるのだから、無くすのは良いこととは思えない。



[設備・地域連携]

- トイレがくさいからと言って、がまんして家に帰って来ます。
- 調理実習で「自分のことは自分で」の考えのもと、子供たちに用意させているのはいいが、人によって用意するものの差ができるのは考えものです。「自分のことは自分で」というなら、子供たちに予算を持たせ、子供たちに必要なものを買に行かせる方がいいと思います。学校なり町からなり予算が出るのであれば、それを利用した方がいいと思います。
- よりよい学校づくりを目指すに当たって、必要だと思われる経費については、教育予算を要望していくべきだと思います。



「改善策」

- 子供たちは家庭学習をがんばっています。各学年において、学年や発達の段階に応じて進めています。また、「家庭学習の手引き」を改善し、具体的例を挙げ、御家庭と連携して取り組みます。

- ・「総合的な学習の時間」については、昨年度までは、例年通りの場所での調査でした。今年度は「郷土妹背牛」を大きなテーマとしていますが、その中でも、子供自らが課題を決め、調査方法を設定し、児童の疑問や気付きを大切にしながら、取り組んでいるところです。御期待ください。
- ・授業の進捗については、年間指導計画に基づき、各学級の進み具合を適宜報告し合っています。今後も適切に管理し、計画に沿った実施とします。
- ・挨拶については、する力はあるものの、声を掛けられるのを待っているという実態もあります。相手よりも先に大きな声で挨拶するよう、指導しています。御家庭でも、御指導ください。
- ・積極的な生徒指導として、他者を大切にす思い遣りの心の育成に各学級で取り組んでいます。更に、いじめアンケートを年に2回行っています。明らかになった事例については担任の先生を中心としつつ、担任の先生だけに任せるのではなく、組織的に協議しています。また、明らかになった内容や経過について、直ちに御家庭と連絡を取り合いながら対応を進めています。
- ・「保健だより」はもとより、各種便り等を充実させる中で、学校の取り組みについて御家庭・地域に発信し、共有を図り、連携した取り組みにつなげていきます。
- ・カーリングについては、本年度の予定授業数が1時間減となっていますが、取り組み自体を無くす訳ではありません。また、スキー学習は継続して実施します。御安心ください。
- ・トイレについては、先日の教育委員の学校訪問時にも、話題となっています。今後、休業中に専用の薬剤を用いて清掃する方向で調整中です。
- ・調理の経費については、町からの補助金も活用しながら、どの学級も同じ対応となるようにしていきます。
- ・教育予算については、一例を挙げると、特別支援学級の机・椅子等、必要性をお伝えする中で、教育委員会より措置していただいています。今後も、新年度に向けての予算要望はもとより、必要性・緊急性に応じて、要望していきます。

アンケートへの御協力、誠に有難うございました。結果を受けて、これからもより一層、保護者・地域の皆様から信頼される学校づくりと、子供たちの健やかな成長のために教職員一同、取り組みを進めていきます。

○「よくわからない」の数値が上がった結果を真摯に受け止め、取り組みの「見える化」を進めます。学校だより、各種懇談等あらゆる場面を活用し、何の目的で、どのような取り組みをして、どのような向上的変容があったのかについて、進捗状況とともにお伝えします。

○「児童に寄り添う」視点を大切に、自己肯定感・自己有用感（自分には良いところがある）を高める中で、子供の可能性を引き出します。また、「郷土妹背牛」科等の活動を通して、キャリア教育の視点で、将来への夢や希望を持たせる取り組みを今年度は特に進めています。

○睡眠時間やテレビゲーム等に接する時間等、課題となっている生活習慣等について、御家庭との連携の中で改善を進めていきます。今年度はかなり、家庭学習の工夫を各学級で行っています。

今後も、本校の教育活動に対する御理解・御支援・御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。何かございましたら、学校まで御連絡ください。（担当：佐藤教頭 32-2456）